

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	Revised ENGLISH NOW English Communication Ⅱ	コⅡ329

## 1 内容

### ① 題材内容

- ・題材は「高校生目線の話題」という視点で精選されている。学習者の発達段階に配慮され、特に「日常話す相手との距離の取り方」（5課）「日本を代表する俳優の1人である渡辺謙さん」（8課）「高校生が作った究極のエコカー」（9課）など、生徒の興味・関心を引き、楽しく、有益な題材が取り上げられている。また、「日本のODAによる支援」（7課）など、生徒が国際協力・貢献について考えるきっかけになるような今日的な題材も取り上げられている。
- ・本文ページ下の質問項目（Yes/No Question）で英語を使って内容理解を確認するとともに、巻末に設けられた「題材理解のために」で、さらに理解を深める工夫がされている。

### ② 言語材料

#### ア 語彙の選択と配列

- ・語彙は平易で活用度の高い基本的なものを無理なく学べるように、よく精選されている。

#### イ 文・文型・文法事項の選択と配列

- ・学習指導要領に基づいて、易から難へ配列するように、十分に工夫されている。
- ・学習事項の定着を図るため、反復練習ができるように工夫されている。
- ・各課の重要文法事項は課末の“KEY POINT”でまとめられている。さらに4箇所にした「場面で理解」では、これまでに学習した文法事項が、使われる場面によって異なる機能を持つことを理解させることができる。

#### ウ 文の長さとその難易による配列

- ・短い文から次第に長い文へと、学習者に負担にならないように段階的に学習できるよう、よく配慮されている。

#### エ 音声

- ・本文ページ下の発音コーナーでは、本文中に出てくる注意すべき英語の音やアクセント、連音、イントネーションなどを取り上げている。
- ・傍注に示された新出語には「発音記号」のみが示されている。I巻で併記されていた「カナ表記」は巻末にまとめられており、学習段階に応じた音声指導ができるよう配慮されている。

#### オ 言語の使用場面と働き

- ・課末に置かれたDRILL, PRACTICE, ACTIVITYや3箇所にしたLet's Communicate（言語の使用場面）により、4技能の総合的な指導を通して、4技能を統合的に活用したコミュニケーション能力を育成できるように工夫されている。

## 2 分量・構成

- ・本課数9（PART 1-3課, PART 2-3課, PART 3-3課）と、PART 1, 3の後の2箇所に読み物教材が用意されており、全体として4単位で余裕をもって消化できる適切な分量になっている。
- ・本課の理解を深めるFurther Activitiesが巻末に設けられ、時間数に余裕のある場合の配慮もされている。
- ・課の冒頭には「何ができるようになるか」の目標が示されており、学習者が目標をもって学習に取り組むように工夫されている。
- ・課の冒頭の“Warm-Up Listening”は題材に関連したリスニング活動になっており、生徒の興味・関心を呼び起こし、活気のある授業を行えるよう工夫されている。
- ・本文・練習問題は易から難へ配列されており、分量・難易度ともに適切である。

## 3 表現・表記・使用上の利点

- ・大判（B5判）の利点を活かし、ゆとりのある紙面構成となっている。
- ・表紙や口絵の写真やイラストを含め、印刷はすべてカラーでありながらも、鮮明で美しい色使いとなるよう配慮されており、学習者が意欲をもって学習に取り組めるように工夫されている。
- ・本文活字はブロック体を使用し、太めで適度に大きく、字間、行間も適切で読みやすさに配慮されている。
- ・巻末の「題材理解のために」には日本語による各課の背景資料を掲載しており、学習者が題材内容に関心を深める工夫がされている。また、新出語の意味も示されており、辞書的な使い方もできるようになっている。
- ・後見返しには「不規則動詞活用表」を、後見返し裏には「主な発音記号」を示し、必要なときにいつでも繰り返し確認できるように、学習上の便宜が図られている。